

管理運営評価シート(令和4年度)

施設名称	縄文の里・朝日	評価対象年度	令和 4 年度
指定管理者名	公益財団法人イヨボヤの里開発公社	所管課	生涯学習 課
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)	評価者(課長)	平山 祐子

1 令和4年度の実績

(1)事業実績

利用実績	入館者数1,476人、体験者数502人、食堂・売店利用人数651人
サービス向上の取組	①接客研修等への参加 ②ホームページ及びSNSの充実 ③関係職員に改善案の提示と対応

(2)管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (2年度)	前年度 (3年度)	当該年度 (4年度)	合計	備考
収入	指定管理料	26,742	26,763	27,687	81,192	基本協定額: 142,626 千円
	利用料金				0	
	事業収入				0	
	自主事業収入		102	226	328	
	その他				0	
	収入合計 ①	26,742	26,865	27,913	81,520	
支出	人件費	14,851	14,855	15,386	45,092	
	福利厚生費	2,686	2,734	2,791	8,211	
	事務費	3,983	4,062	4,474	12,519	
	管理費	5,222	5,112	5,036	15,370	
	水道光熱費	1,267	1,266	1,800	4,333	
	修繕料	811	862	201	1,874	
	使用料・リース料	518	510	501	1,529	
	手数料・保険料	181	155	84	420	
	委託料	2,445	2,319	2,450	7,214	
	事業費				0	
	自主事業経費		89	93	182	
	その他				0	
支出合計 ②	26,742	26,852	27,780	81,374		
収支差額(①-②)	0	13	133	146		

2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考 (◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	◎	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	◎	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	◎	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	◎	◎	ホームページと各種SNS(Facebook、Twitter、note、YouTube)を幅広く活用し、利用者のニーズに合わせた広報活動を積極的に行っている。
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	◎	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	◎	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	◎	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	◎	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	◎	○	
	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
地域貢献への取組	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	◎	○	
	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	◎	○	
地域貢献への取組	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	◎	○	

◎:協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○:協定等の内容どおり業務を履行しており適正

△:協定等の内容に対し、一部不履行がある ×:協定等の内容に不履行があり改善の必要がある -:該当なし

3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

(1) 指定管理業務実施上の課題
<ul style="list-style-type: none">・施設の老朽化に伴い設備の管理(主に空調)・自動解説設備(イヤホンガイド)の経年劣化・展示施設の照明のLED化
(2) 課題解決に向けた取組
<ul style="list-style-type: none">・部屋別での空調に変更依頼・QRコード読み込みによるスマホでの解説を行っている・順次LED電球に変更予定
(3) その他
①利用者からの主な意見や苦情、対応策
アンケートの集計結果では職員の接客態度等は良好という回答が多く、令和4年度は苦情等はなかった。アンケートは随時確認しており、苦情があった場合には早急に対応できるようにしている。 令和4年度は、施設の場所が分かりづらいとのご意見が上がったため、土地の所有者に許可を取った上で、大場沢、新屋、荃太に「看板」を設置することで対応した。
②その他

4 全体的な評価

(1) 指定管理者の評価
施設管理や利用者への対応について適切に行われている。ホームページやSNS等での情報発信を積極的に行っており、イベントの内容もマンネリ化を防ぎながら様々なアイデアを出して創意工夫をしている。利用者のアンケートでは良好な評価を得られ、施設運営は概ね良好に行われている。
(2) 施設所管課の評価
施設管理や利用者への対応について適切に行われ、イベント内容についても様々なアイデアを出して創意工夫に努めており、利用者アンケートでも良好な結果が得られており、施設運営は概ね良好に行われていると評価される。新型コロナウイルス感染症の影響も受けつつ、令和3年度と比較して入館者数が回復傾向にあるため、今後も市民の要望を把握しながら地域の歴史・文化の振興に寄与するような企画展示や講座の開催等を行っていただくとともに、外部へのPRをより一層広げるなど、さらなる利用者の増加に向けた取り組みを進めてもらいたい。
(3) 次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)
今後入館者数も回復していくことも視野に入れ、適切な施設管理と親切丁寧な対応を心がけ、利用者の満足度向上を目指して施設運営にあたってもらいたい。また、利用者の増加に向けた近年の状況や流れに合ったPR方法や企画展示について検討するとともに、国指定文化財資料の保存と公開や交流人口増加の拠点として施設が有効活用されるよう、情報発信の充実にも努めてもらいたい。